

令和2年度 学校評価自己評価表

a ミッション	【世羅町教育プラン】 豊かな人間性を持ち、たくましく未来を拓く、しなやかで、品格のある生徒の育成	aビジョン 【めざす学校像】 学んでよかった(生徒), 学ばせてよかった(保護者), 学ばせたい(地域), やりがいのある(教職員)学校 【学校教育目標】 豊かな心を持ち, 主体的に学び合う生徒の育成	(子どもたちに育てたい資質・能力) ◎ 知識・技能 ◎ 思考力・判断力・表現力 ◎ 主体性・人間性	世羅町立世羅西中学校
---------	-----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------	------------

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案	
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ			
学力の向上	生徒の主体的な学びを引き出し、生徒の思考力・判断力・表現力を高める。	○協調学習の理論研修の実施 (年2回以上) ○協調学習の授業実践 (1人2回以上)	○教員アンケート肯定的評価 「ジグソー法を使い、主体的な学びとなる授業づくりに取り組めた」	100%											
			○生徒アンケートの肯定的評価 「ジグソー法で、人の考えをもとに、自分の考えが深まった」	95%											
			○授業参観者アンケートの肯定的評価 「主体的に学び合い、考えを深めあっていると思う」	80%											
		○標準学力調査結果分析に基づく改善計画の着実な実施 (5教科)	○標準学力調査で、課題項目や問題等について、再学習の後、類似問題等で再調査したときの達成率の伸び	+15%											
豊かな心の育成	人権意識と品格のある生徒を育てる。	○人権教育推進のための研修 (年2回)	○生徒アンケートの肯定的評価 「自分にはよいところがあると思う」	80%											
		○あいさつプラス1とほっこり行動の推奨指導と評価	○生徒アンケートの肯定的評価 ・「あいさつプラス1ができた」 ・「ほっこり行動ができた」 ○保護者・地域アンケートの肯定的評価 「あいさつプラス1ができる生徒が増えたと思う。」	80% 70% 75%											
		○活動前におけるリーダーへの綿密な指導及び、事後の評価 (随時)	○生徒アンケート肯定的評価 ・「生徒会活動や縦割りグループ活動に主体的に取り組んだ」 ・「自分もあのようにになりたいと思う先輩がいる(いた)」 ・「目標となる先輩となれるよう努力している」	95% 95% 95%											
子どもたちの帰りの時間の確保	働き方改革の推進 勤務時間外勤務の減少	○行事や諸活動の見直しと改善	○教員アンケート肯定的評価 「行事や諸活動を見直し、改善の工夫や提案を行うことができた」	80%											
		○スイスイ水曜日の徹底	○行事や諸活動の見直しと改善をした数 ○教員アンケート肯定的評価 「時間外勤務が、昨年の同月よりも少なくなったと思う。」	10 100%											

g 達成値 = 肯定的評価(AとB)の和/回答数×100 (アンケートの場合)
h 達成度 = g/f×100

【自己評価】 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

k 【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。